

学校教育目標

- ◎自己の可能性を信じ、何事にも主体的にチャレンジする生徒の育成
- ◎広い視野を持ち、地域社会の形成にすすんで参画できる生徒の育成

総合学科

笛吹高校の3年間で身に付けてほしい力

- 将来の職業選択を視野に入れた自己の進路への自覚を深め、心豊かに主体的・創造的に生きていくことのできる資質や能力を育成する。
- 個性を生かした主体的な学習を通して、学ぶことの楽しさや、成就感を体験し、学習に対する意欲や態度を育成する。

1年次の目標

『産業社会と人間』の時間、授業体験、社会人講話等を通して、自己を見つめ、地域や社会を考え、将来にわたる生き方あり方について考えを深める。自分の興味・関心や適性・能力等を見出し、自分に合った進路目標の決定に努める。

2年次の目標

目指す進路実現に向けて、自分の適性や進路希望に応じた科目選択・系列選択を行い、専門的な知識・技術を習得する。

3年次の目標

明確な目標意識を持ち、自分の夢や興味関心に応じた知識や技能をさらに究め、進学や就職に対応できる実践力を身につける。

学ぶ皆さんへの助言・アドバイス

2年次以降の具体的な選択科目を決めるために、1年次では自分の個性や適性を発見し、将来の進路や生き方、学習の仕方などを学び、「なりたい自分」探しをします。講演や体験学習を通じて、自分のこととして捉え、職業研究や進学研究をし、理想とする人物の姿を思い浮かべて自分がどう生きるべきかを考えながら授業に取り組みしましょう。

2・3年次では、自分の適性や進路希望に応じた科目選択・系列選択を行い、専門的な知識・技術を習得するとともに、将来の職業生活に必要な態度や能力を養います。就職・進路の幅を広げられるよう真剣に取り組みしましょう。

	教科	科目	
1	国語	現代文B	
2	公民	現代社会	
3	保健体育	体育	
4	外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	
5	国語	国語表現	選択1
6	外国語	英語理解	選択1
7	家庭	子どもの発達と保育	選択1
8	芸術	構成	選択1
9	情報	情報実習	選択1
10	保健体育	総合スポーツ	選択1
11	理科	生物基礎	選択2
12	農業	グリーンライフ	選択2
13	農業	職業ライセンス	選択2
14	家庭	食文化	選択2
15	福祉	手話入門	選択2
16	商業	簿記実習	選択2

人間科学系列スポーツ科学コース

17	国語	国語表現	
18	家庭	コミュニケーション技術	
19	保健体育	スポーツⅠ	
20	保健体育	スポーツⅡ	
21	保健体育	スポーツⅢ	
22	保健体育	生涯スポーツ	
23	保健体育	トレーニング理論と実際	
24	保健体育	課題研究	

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目	国語表現	単位	2	履修区分	選択
対象学年・類型・コース	3年 総合学科 スポーツ系列 高等学校 国語表現 第一学習社				
目標とする生徒の将来像	国語で適切かつ効果的に表現することのできる生徒 自ら進んで表現することにより、社会生活の充実をはかることのできる生徒				
評価の観点	① 関心・意欲・態度 国語や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現したり理解するとともに、伝え合おうとしているか。 ② 話す・聞く力 自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりしているか。 ③ 書く力 自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書いているか。 ④ 読むこと 自分の考えを深めたり発展させたりしながら、目的に応じて様々な文章を的確に読み取ったり読書に親しんだりしているか。 ⑤ 知識理解 表現と理解に役立てるための音声・文法・表記・語句・語彙・漢字等を理解し、知識を身につけているか。				
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法	自己評価
1 学期	第1回定期試験	○ 日本語の特徴 ○ 方言と共通語	・日本語の文法、語彙、音節、文字の特徴を理解する。 ・方言と共通語の特徴を理解する。	・日本語の特徴を理解できたか。 ・方言と共通語の特徴を理解できたか。	A B C A B C
	第2回定期試験	○ 敬語の分類 ○ ニュアンスを変える助詞	・正しい敬語について理解し、適切な敬語を用いて話す。 ・文章を読んで、助詞の違いが表すニュアンスの違いを理解する。	・正しい敬語について理解できたか。 ・助詞の違いが表すニュアンスの違いを理解できたか。	A B C
2 学期	第3回定期試験	○ 日本語のレトリック ○ 古語雑談「やさし」の語史	・日常で使われている比喩表現の成り立ちを把握する。 ・日本語の成り立ちと日本人の物の考え方について考える。	・比喩表現の成り立ちについて理解できたか。 ・日本語の成り立ちについて理解したか。	
	第4回定期試験	○ 時間の見方を変えるとき ○ 皁月	・意見文を読み、構成や論証の仕方を自分の表現に役立てる。 ・表現技法とその効果を理解する。	・文章の構成や論証の仕方を理解できたか。 ・表現技法について理解できたか。	
3 学期	第5回定期試験	○ コップの中の論戦	・当初の論点を理解する。	・論点を理解し、自分の意見を書くことができたか。	
	検定資格(時期) ・ 諸費用(予定)				
	履修にあたって	表現の授業なので、文章を書いたり、それを発表したり、相互に評価したりします。単元ごとに、レポート等の作成もします。それを評価しますので、真剣に取り組んで下さい。			

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目	福祉・コミュニケーション技術	単位	2	履修区分	必修	必修	選択
対象学年・類型・コース	3年・総合学科・人間科学系列						
使用教科書	コミュニケーション技術 (実教出版)						
目標とする 生徒の将来像	感情や意思、情報を互いに伝えあう、意思疎通の相互作用であるコミュニケーションを身につける。 コミュニケーションの意義や役割を理解する。 サービス利用者や家族あるいは他職種との協働におけるコミュニケーションのあり方、チームケアのためにコミュニケーションの重要性、記録等についての知識・技術を身につける。 介護実践、援助活動で活用できる能力と態度を育てる。						
評価の観点	【関心・意欲・態度】 ・社会福祉援助サービスの方法、アプローチなどについて関心を持っているか。 ・意欲的、積極的に課題解決しようとしているか。 【思考・判断・表現】 ・社会福祉援助サービスに関する自分の考えを適切に表現しているか。 【技能】 ・社会福祉援助サービスに関する基礎的・基本的な技術を習得しているか。 【知識・理解】 ・社会福祉援助サービスの意義や役割、社会福祉の基本的な見方や考え方、社会福祉の各分野に関する基礎的・基本的な知識などについて、実際の生活の充実向上に役立つよう総合的に理解しているか。						
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力			主たる評価の観点・方法	
1 学期	第2回 定期試験	第1編 介護における コミュニケーション 第1章 コミュニケーションの意 義と役割 第2章 コミュニケーションの基 本技術 第3章 援助の技法とコミュニ ケーション 第2編 サービス利用者や家族と のコミュニケーション 第1章 サービス利用者や家族と の関係づくり	・人間の理解と人間関係において、ジョハリの窓等演習を取り入れ、客観的に自己を理解する自己覚知を学ぶ。 ・送り手と受け手とのメッセージで成り立っている相互通行のコミュニケーションを身につける。対人援助におけるコミュニケーションの基本を学ぶ。 ・言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーション、言葉づかいの工夫や準言語、沈黙・空間の使い方を理解し、実践する。 ・傾聴の意味を理解し、受容と共感にいかす。 ・対人援助におけるコミュニケーションの実際を学ぶ。 ・個別援助・集団援助としてのコミュニケーションにおいて、ケースワークの定義や原則を理解する。 ・利用者や家族との関係づくりとして、信頼関係の形成が重要であることを理解し、意欲を引き出す面接の技法を学ぶ。 ・家族への支援として利用者や家族の意向調整する技法を学ぶ。			【関・意・態】 【思・判・表】 【技】 【知・理】	
2 学期	第3回 定期試験 ----- 第4回 定期試験	第2章 サービス利用者に応じ たコミュニケーション 第3編 介護におけるチームの コミュニケーション 第1章 記録 第2章 チームによる連携	・どの障害があっても、その人の基本的な権利が守られていることが大切であることを理解し、障害のある人の自己決定を促すようなコミュニケーション方法を学ぶ。 ・チームによる一貫性と継続性のある介護を提供するために、重要な役割を持つのが記録であることを学ぶ。 ・他職種との連携に必要なのは、共通の言葉を用いてコミュニケーションをはかることであることを理解する。			【関・意・態】 【思・判・表】 【技】 【知・理】 ----- 【関・意・態】 【思・判・表】 【技】 【知・理】	
3 学期	第5回 定期試験	第3章 スーパービジョンの技法	・スーパービジョンとは、管理運営能力を持つ介護職が指導・教育・評価を行う一連のプロセスであることを学ぶ。 ・スーパービジョンの方法として、相手を知り相手をいかす面接方法を学ぶ。 調理実習 (どのようなメンバーともコミュニケーションがとれるよう実習を通して学ぶ)			【関・意・態】 【思・判・表】 【技】 【知・理】	
検定資格(時期) ・諸費用(予定)	授業用ファイル 50円 実習材料費 150円 (徴収予定)						
履修にあたって	・コミュニケーション技術では、ソーシャルワークの過程に必要な技術・方法を学んでいきます。介護職員初任者研修の資格取得を目指す生活福祉コースの生徒にとっては必修科目になっています。日頃の体調管理も含め、服装や授業態度に注意し、毎時間真剣に取り組ましましょう。 ・授業態度・プリントの記入状況および提出状況、DVDの視聴状況、実技試験、筆記試験の成績等から総合的に評価します。						

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目		保健体育・スポーツ I	単位	2	履修区分	必履修・必修・選択	
対象学年・類型・コース		3年総合学科スポーツ系列					
使用教科書		なし					
目標とする生徒の将来像		・自ら積極的に幅広い種目のスポーツに関わり、他者と能動的なコミュニケーション活動を行うことで、主体的に考え、明るく行動力のある生徒の育成。					
評価の観点		①【関心・意欲・態度】 時間やルールを守ることや、仲間とともに積極的に活動へ参加しようとしているか。 ②【思考・判断】 技能の向上のために、工夫したり、仲間と協力したりしているか。 ③【技能】 自己の身体を思い通りに扱い、正確な技能が発揮できているか。 ④【知識・理解】 技能が向上するための身体動作や運動の特性を理解し、知識を理解しているか。					
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法	自己評価		
1 学期	第1回定期試験	・陸上競技、水泳、スキー、スケート、球技などから、用具、施設の状況を鑑み、選択して行う。	・スポーツについての総合的な理解を通して、その知識を運動の主体的、計画的な実践に活用できるようにするとともに、生涯を通してスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。	①観察 ②観察 ③テスト ④観察	A B C A B C A B C A B C		
	第2回定期試験						
2 学期	第3回定期試験						
	第4回定期試験						
3 学期	第5回定期試験						
検定資格(時期)		なし					
諸費用(予定)		なし					
履修にあたって		今まで専門的に取り組んだことのない種目だからこそ、伸びしろがある。自己の可能性を伸ばせるよう、失敗を恐れずチャレンジしよう。					

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目	保健体育・スポーツⅡ	単位	2	履修区分	必履修・必修・選択
対象学年・類型・コース	2年総合学科スポーツ系列				
使用教科書	なし				
目標とする生徒の将来像	・自ら積極的に幅広い種目のスポーツに関わり、他者と能動的なコミュニケーション活動を行うことで、主体的に考え、明るく行動力のある生徒の育成。				
評価の観点	①【関心・意欲・態度】 時間やルールを守ることや、仲間とともに積極的に活動へ参加しようとしているか。 ②【思考・判断】 技能の向上のために、工夫したり、仲間と協力したりしているか。 ③【技能】 自己の身体を思い通りに扱い、正確な技能が発揮できているか。 ④【知識・理解】 技能が向上するための身体動作や運動の特性を理解し、知識を理解しているか。				
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法	自己評価
1 学期	第1回定期試験	・球技選択 ゴール型 ネット型 ベースボール型 ターゲット型	・球技の専門的な理解と高度な技能の習得を目指した主体的な実践を通して、自己の課題を解決できるようにするとともに、生涯を通じてスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。	①観察 ②観察 ③テスト ④観察	A B C A B C A B C A B C
	第2回定期試験				
2 学期	第3回定期試験				
	第4回定期試験				
3 学期	第5回定期試験				
検定資格(時期)	なし				
諸費用(予定)	なし				
履修にあたって	今まで専門的に取り組んだことのない種目だからこそ、伸びしろがある。自己の可能性を伸ばせるよう、失敗を恐れずチャレンジしよう。				

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目	保健体育・スポーツⅢ	単位	2	履修区分	必履修・必修・選択
対象学年・類型・コース	3年総合学科スポーツ系列				
使用教科書	なし				
目標とする生徒の将来像	・自ら積極的に幅広い種目のスポーツに関わり、他者と能動的なコミュニケーション活動を行うことで、主体的に考え、明るく行動力のある生徒の育成。				
評価の観点	①【関心・意欲・態度】 時間やルールを守ることや、仲間とともに積極的に活動へ参加しようとしているか。 ②【思考・判断】 技能の向上のために、工夫したり、仲間と協力したりしているか。 ③【技能】 自己の身体を思い通りに扱い、正確な技能が発揮できているか。 ④【知識・理解】 技能が向上するための身体動作や運動の特性を理解し、知識を理解しているか。				
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法	自己評価
1 学期	第1回定期試験	・武道及び、身体表現活動を行う。	・武道及び身体表現活動などの専門的な理解と高度な技能の習得を目指した主体的な実践を通して、自己の課題を解決できるようにするとともに、生涯を通してスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。	①観察 ②観察 ③テスト ④観察	A B C
	第2回定期試験				A B C
2 学期	第3回定期試験				A B C
	第4回定期試験				A B C
3 学期	第5回定期試験				A B C
検定資格(時期)	なし				
諸費用(予定)	なし				
履修にあたって	今まで専門的に取り組んだことのない種目だからこそ、伸びしろがある。自己の可能性を伸ばせるよう、失敗を恐れずチャレンジしよう。				

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目	保健体育・生涯スポーツ	単位	2	履修区分	必修 必修 ・選択
対象学年・類型・コース	3年総合学科スポーツ系列				
使用教科書	なし				
目標とする生徒の将来像	・スポーツの専門的な知識や高度な技能の総合的な活用を目指した課題研究を通して、生涯を通じた豊かなスポーツライフの実現及びスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。				
評価の観点	①【関心・意欲・態度】 時間やルールを守ることや、仲間とともに積極的に活動へ参加しようとしているか。 ②【思考・判断】 技能の向上のために、工夫したり、仲間と協力したりしているか。 ③【技能】 自己の身体を思い通りに扱い、正確な技能が発揮できているか。 ④【知識・理解】 技能が向上するための身体動作や運動の特性を理解し、知識を理解しているか。				
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法	自己評価
1 学期	第1回定期試験	・球技	・球技の専門的な理解と高度な技能の習得を目指した主体的な実践を通して、自己の課題を解決できるようにするとともに、生涯を通じてスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。	①観察 ②観察 ③テスト ④観察	A B C
	第2回定期試験				A B C
2 学期	第3回定期試験				A B C
	第4回定期試験				A B C
3 学期	第5回定期試験				
検定資格(時期)	なし				
諸費用(予定)					
履修にあたって	生涯にわたって運動に親しんだり、自己の体力向上及び健康の保持増進を図れるよう、運動の楽しさや、喜びを学んでください。				

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目	保健体育 トレーニング理論と実際	単位	2	履修区分	必履修 必修 ・選択
対象学年・類型・コース	3年総合学科スポーツ系列				
使用教科書	なし				
目標とする 生徒の将来像	・トレーニングの原理原則を理解し、筋力、全身持久力、筋持久力、筋力パワー、柔軟性、調整力といった体力諸要素を高めるためのトレーニング方法を概観し、運動パフォーマンスを高めるために効果的な体力トレーニングメニューを作成する能力を身につける。				
評価の観点	①【関心・意欲・態度】 時間やルールを守ることや、仲間とともに積極的に活動へ参加しようとしているか。 ②【思考・判断】 技能の向上のために、工夫したり、仲間と協力したりしているか。 ③【技能】 自己の身体を思い通りに扱い、正確な技能が発揮できているか。 ④【知識・理解】 技能が向上するための身体動作や運動の特性を理解し、知識を理解しているか。				
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法	自己評価
1 学期	第1回定期試験	・トレーニング概要 ・トレーニングの実践	・人体の基本的な構造と機能（主に筋骨格系）を理解し、運動生理学やトレーニング科学の基本的事項を学ぶ。さらには、各種レジスタンストレーニングや持久系トレーニングの方法、スピード・アジリティ系トレーニングの方法、プライオメトリクストレーニングの方法などを理解するとともに、トレーニングの評価法や計画を作成できるようにする。 ・トレーニング概論で学んだ理論・方法をもとに、体づくり運動として、各種レジスタンストレーニングや持久系トレーニングの方法、スピード・アジリティ系トレーニングの方法、プライオメトリクストレーニングの方法などを行う。さらにトレーニング実践では、目的に応じたトレーニングプログラムを自ら作成し、それをもとに基本的なトレーニング種目の動作習得を目指す。	①観察 ②観察 ③テスト ④観察	A B C A B C A B C A B C
	第2回定期試験				
2 学期	第3回定期試験				
	第4回定期試験				
3 学期	第5回定期試験				
検定資格(時期) 諸費用(予定)	なし				
履修にあたって	生涯にわたって運動に親しんだり、自己の体力向上及び健康の保持増進を図れるよう、運動の楽しさや、喜びを学んでください。				

平成30年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目	課題研究	単位	2	履修区分	必修修・必修・選択	
対象学年・類型・コース	3年総合学科 人間科学系列 スポーツコース					
使用教科書	なし					
目標とする生徒の将来像	体育理論や運動に関する課題を設定し、この課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、統合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。					
評価の観点	<p>【関心・意欲・態度】 自分の興味・関心や進路希望に応じて、自らテーマを設定し、自主的に調査・研究および報告をする心構えや態度を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】 自らのテーマに沿って本、インターネットからの情報を収集し、実技を行う中で多様な角度から問題を掘り下げて、主体的に分析・判断して、課題の追求をし体系的にまとめ、その成果を創意工夫して表現する能力を身につけている。</p> <p>【技能】 情報収集の方法、また、レポートの書き方やプレゼンテーションの技術を身につけ、自分がまとめたテーマに基づいて、他の人に伝えるための技能を適切に活用している。 【知識・理解】 自ら設定した課題について、新たな知識を主体的につかみ取り、判断して、問題解決の能力を身につけている。</p>					
学期	単元・教材	主たる目標・付けたい力			主たる評価の観点・方法	自己評価
1学期	1 課題の設定 2 研究の方法 3 実験、調査、製作など	<ul style="list-style-type: none"> 自分の興味・関心や進路希望に応じて、テーマを設定する。 研究の方法、内容、計画を考える。 調査、製作等を計画的に行う。 			<p>【関・意・態】</p> <p>【思・判・表】</p> <p>【技】</p> <p>【知・理】</p>	
2学期	1 中間発表 2 実験、調査、製作など	<ul style="list-style-type: none"> 実施状況を振り返り、今後の研究内容・計画を立てる。 調査、製作等を計画的に行う。 結果と考察をまとめ、PPを作成する。 			<p>【関・意・態】</p> <p>【思・判・表】</p> <p>【技】</p> <p>【知・理】</p>	
3学期	1 PPによる発表	<ul style="list-style-type: none"> PPを使用し、全体で発表する。自己評価、相互評価をする。 			【知・理】	
検定資格(時期)・ 諸費用(予定)	特になし					
履修にあたって	・研究や発表に取り組む意欲、態度、作品などの内容、出席状況などから総合的に評価します。					